大和市市民活動推進補助金 応募用紙

18年 5月 26日

大和市長 土屋 侯保 殿

申請者	住所	[非公開		
団体名及び代表者名(個人の場合は氏名)					
引地川・下福田子どもの水辺協議会					
		会長	小西	民子	

次のとおり応募します。

1.申請内容

	(どちらかを で囲んで〈ださい)
(1)補助金の区分 	1.めばえ 2.はぐくみ
(2)事業の名称	引地川であそぼう
(3)希望する補助金	100,000円
の額	【上限額:めばえ 50,000 円 上限額:はぐ(み 200,000 円)

2. 市民活動推進補助金で実施したい事業内容

(1)事業期間	18年 6月 1日 ~ 18年 10月 31日		
	活動場所 主に大和市内 その他()		
(2)事業の実施体制	拠点となる場所 大和市内 その他() 無し		
実施したい事業の活動場 所、活動の拠点、その他事 業に協力される人、団体を 記載してください。	(実際に事業に携わる人、協力団体など) ・ 大和市子ども会連絡協議会 南部ブロック ・ 下福田小学校 PTA ・ 下福田中学校 ボランティアサークル ・ 下福田中学校区家庭・地域教育活性化会議 ・ 柳とあそぼう引地川実行委員会		
(3)事業の目的 補助金で実施したい、事業の目的を具体的に記載してください。			

対象者 主に大和市民 その他(

(4)事業の内容

補助金で実施したい、事業 内容について

なぜ、この事業を実施し たいのか?

どんな課題を改善する ために事業を実施したい のか?

などをふまえ、具体的に事 業内容を記載してください。

さらに、事業の先駆性、発 展性、新しいアイデア・工 夫などもわかりやすく、記 載してください。

「はぐくみ」申請の場合 これまでの活動をどう 充実、発展させていくの かがわかるように記載 してください。

(事業実施の意欲・課題改善・具体的な事業内容)

「川は汚い、危険なところ。だから入ってはいけません。」と子どもたちを川から遠ざけるのではなく、川と付き合うルールや心構えを伝え、大人も子どもも引地川を自分たちのふるさとのたからであることを認識して欲しい。

当日の具体的内容は

- ・川に入るときの注意事項の説明
- ・全員で川のゴミを拾う
- ・水生生物の観察
- 手網をつかって魚をとる
- ・魚の観察会およびスケッチ
- ・投網の投げ方教室

これまでは市子連南部ブロックが主催していた事業(3回開催)を今年度から本会が主催し、広く地域の子どもたちの参加を呼びかけ、地域の方々に協力をお願いすることとした。

報告書の作成

本事業は、「市子連だより」で紹介された経緯はあるが、今まで系統立てた記録を残してはいなかった。今回、この補助金でこれまでの活動のまとめとして報告書をつくり、地域の方々が「引地川」をふるさとの川として、自然を守り育んでいかれるようさらに理解を深めていただ〈材料にすると共に、本会および地域の財産としたい。

数年後に建設される「水辺の楽校」でのイベントの参考書とする。

(5)スケジュール

事業実施の具体的なスケ ジュールを記載してくだ さい。 6月上旬 「引地川であそぼう」企画会議

6月下旬 チラシづ(り ポスターづ(り

7月上旬 参加者募集

7月16日 引地川の下見

7月22日 「引地川であそぼう」

8月下旬 報告書企画会議

9月~10月 編集作業

10月末 報告書完成

11月4日5日 大和市環境立市フェア 報告書デビュー

(7)事業の効果

事業を実施することで、誰に、地域に、どのような効果があるのか、具体的に記載してください。

「川遊びの楽しさ」と「川の怖さ」を子どもたちに伝え、「自分の命は自分で守る」術を、川遊びをしながら教えることができる。

川に入ることで自然を体感し、環境について考える機会を提供することができる(環境教育の場)

昔の引地川を知っている方々に引地川を語っていただ〈「場づ〈り」のきっかけにしたい。

3. 市民活動推進補助金で実施したい事業の収支予算等

(1)事業収支予算 収入には今回の市民活動推進補助金(補助希望額)を入れて〈ださい

	項目	内容	金額(円)
収の要な資金	参加費	イベント参加費(100円×200人)	20,000
	寄付	寄付	10,000
必要	補助金	市民活動推進補助金	100,000
ん な 資			
入金			
	ЧХ	. 入 合 計 (A)	130,000
	項目	内容	金額(円)
支 出	会議費	コピー代(イベント・報告書企画打ち合わせ等)	5,000
	消耗品費	薬、麦茶、電池、その他	5,000
	広報費	チラシ・ポスターの用紙、印刷代	10,000
	報告書作成	写真、印刷代	100,000
	保険料	イベント保険	5,000
出出	交通費	イベント当日スタッフ交通費	5,000
	支 出 合 計(B) 130,00		
収支差	額 (A)-(B)		0

(2)無償分の積算内訳(金額換算)

ボランティアなど無償で提供された労力などを事業費に算入する場合は積算内訳を記入して〈ださい。

	項目	内容	金額(円)
積	イベント打ち合わせ	8人×4回×2時間×500円	32,000
算	イベント当日	20人×4時間×500円	40,000
内	報告書企画編集	7人×3時間×7回×500円	73,500
訳			
	無償分合計(C)		145,500

(3)事業に要する経費合計

事業に要する経費合計 (B)+(C)= 275,500円 【アミカケ部分の金額の合計】

4.添付書類

	活動実績書類
	直近の収支決算書
(1)添付書類	団体の定款又は規約 及び役員名簿

- 1 会報やちらし、報告書、新聞記事の写し等活動実績のわかる資料を添付して〈ださい。 資料はA4の大き さにそろえて〈ださい。
- 2 「めばえ」で、これから活動をはじめる予定の場合は、記入及び活動実績書類の添付は不要です。

5.第7次総合計画上の体系

	【基本計画1 まちづくり編】	個別目標 環境への負荷を減らす
(1)第7次総合計画上 の体系 補助金の事業が、第7次総合計画の基本計画でどの 体系に属するのかを し、個別目標・達成された 姿を記入してください	 1 - 1 やる気を活かせるまちをつくる 1 - 2 子どもが健やかに育つまちをつくる 1 - 3 安全に暮らせるまちをつくる 1 - 4 一人ひとりが大切にされるまちをつくる 1 - 5 人のつながりがあるまちをつくる 1 - 6 次世代へ引き継げるまちをつくる 	目標が達成された姿環境に対する意識が高まっている